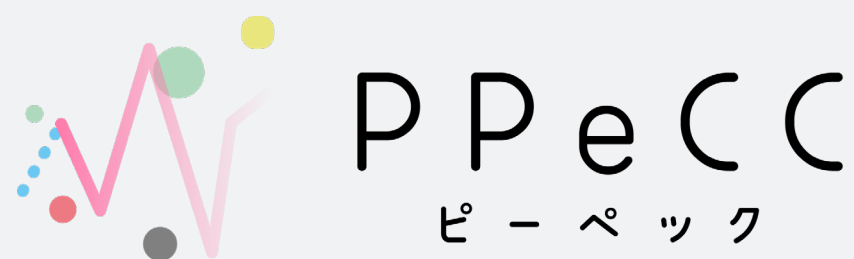


一般社団法人ピーペック

病気の経験が力となり、新しい価値が生まれる。

ボイスリレーション事業 サービス紹介資料

2026年6月



病気をもつ人の“こえ”には、力がある。

ピーペックの活動の原動力は、
病気をもつ人の“こえ”

(経験、知見、困りごとや本音など) です。

ピーペックは様々なステークホルダーと繋がり、
病気をもつ人の“こえ”を新しい価値に変換して、
病気が「新しい○○」を知るきっかけになる
社会をつくりまします。



透析歴40年目の代表理事宿野部武志をはじめ、血友病A・薬害HIV、慢性炎症性脱髄性多発神経炎 (CIDP)、筋ジストロフィー (LGMD)、1型糖尿病など、多様な難病・慢性疾患の当事者が運営・参画。

病気をもつ人の“こえ”の社会実装プロセス

1

集める

多様な病気をもつ人の“こえ”をあらゆる方法で集積。潜在的なニーズや本音を抽出

2

協働する

「患者・市民参画（PPI）」を促進・支援することにより、医療の質、安全性、患者中心性を高めるプロセス

3

活かす

病気をもつ人との共創・対話により集めた“こえ”を企業が実行可能なステップへと変換し、病気をもつ人や市民視点の治療・薬・新しいサービスを届ける

「患者・市民参画（PPI）」実現のための取り組みを、 それぞれのニーズや目的に合わせて提案、協働します。



01 社内研修・ イベント等の 企画運営

- 病気をもつ人との対話会、ワークショップを通じた社員の意識改革
- 患者・市民参画（PPI）の導入



02 製品・資材・ サービス等への アドバイザリー

- 同意説明文書や当事者向け資材のレビュー
- 開発プロセスへの参画
- 倫理審査委員会への参画



03 講演、パネリスト 登壇、執筆

- 「当事者」×「支援者」×「多様な人生・社会経験」という多様な背景をもつメンバーを中心としたインサイトの提供



04 調査・研究への 協力

- アンケート調査
- インタビュー、モニター会の企画運営
- “こえ”をエビデンスへと再構築

課題 / ニーズ×ピーペックの強み×サービス

課題 / ニーズ	ピーペックの強み	サービス
社員が患者のリアルな日常や経験を知る機会が無い	患者会などのネットワークを通じて病気をもつ人へのアプローチが可能	研修・イベント等の企画運営：50万円～ コンサルティング：5万円～
企画の準備・実施にかかる実務的負担が大きい	年間50回の企画運営体制をもちアウトソースが可能	
患者のインサイトを製品開発等に繋げるノウハウの不足	病気をもつ人との幅広いネットワークにより、“こえ”の質を担保	文書レビュー・アドバイザー：35万円～ 調査・研究への協力：50万円～
患者と対話する必要性の認識不足	社員の意識改革の実績が多数あり、幅広い疾患に対応可能	講演・登壇：10万円～

※金額は税別

プランニングから実行までワンストップで提供します。

01 社内研修・イベント等の企画運営

患者・市民参画（PPI）に取り組みたい、病気をもつ人の生の声を聞きたい等、企業のニーズに応じた当事者との対話の場やワークショップ、体験型プログラム等を提供します。法令やガイドライン遵守のためのグラドルールを用い、様々な病気の当事者と連携して、業務に生きる新たな体験価値を創造します。

● サービス概要

受身で話を聞くだけでなく、病気をもつ人との「対話」や「体験」する参加型プログラムを提供します。病気をもつ人への理解を深めるだけでなく、社員の意識変革やモチベーション向上、新たなビジネスのヒントを得る場を企画・運営します。

● 提供プログラム例

- ✓ 対話会：参加者が病気をもつ人と少人数で対話することで、病気を「自分ごと」として捉える視点を養います。
- ✓ ワークショップ：自身の業務に活かせる「気づき」を言語化できます。
- ✓ 参加型プログラム：病気をもつ人と一緒に行動する、擬似的な病気体験をする等、頭での理解を超えた「病気をもつ人視点」を育てる機会を提供します。

● このような課題に

- ✓ PPI活動に取り組んでみたいけれど、どうしたら良いか分からない
- ✓ 社員の意識変革やモチベーション向上のための研修を取り入れたい
- ✓ 病気をもつ人の生の“こえ”を聞くことで、病気をもつ人の実態やニーズを把握したい
- ✓ 業務に活かせる気づきや、新たな取り組みのヒントを得たい



02 製品・資材・サービス等へのアドバイザー

製品や資材、サービス等がより病気をもつ人のニーズに沿い、理解しやすく使いやすいものになるよう協働します。ライフサイエンス企業のみならず、一般企業との協働も増えています。また、各種アドバイザーボードや、人を対象とする研究に関する倫理審査委員会へも参画します。



● サービス概要

病気をもつ人は「医療を享受する人」というだけではなく「医療を共に創るパートナー」です。新薬開発や資材制作、様々な方針策定等、ライフサイエンス企業のビジネスプロセスに当事者として参画し、その質を向上させます。また、一般企業の製品やサービスに対しても助言を行い、付加価値を高めます。

● 提供サービス例

- ✓ 資材・文書レビュー：同意説明文書（ICF）をはじめとする治験関連文書や病気をもつ人向け資材を当事者視点でレビュー・助言します
- ✓ アドバイザリーボードへの参画：ライフサイエンス企業の各種方針策定・課題解決等に助言します
- ✓ 臨床研究への参画：プロトコル作成段階からの参画等、当事者実感に即した設計やアンメット・メディカルニーズの反映をサポートします
- ✓ 倫理審査委員会への参画：倫理的配慮について、当事者視点（一般の立場）で助言します
- ✓ 製品・サービスへの助言：製品やサービスに対して、当事者視点で助言します

03 講演、パネリスト登壇、執筆

医療や福祉との関わりで培われた病気をもつ当事者としての経験や思い、問題意識等の“こえ”を伝えることで、受け手の意識や行動に変化をもたらすきっかけが生まれます。テーマに沿った講演、多様なステークホルダーとのパネルディスカッション、寄稿や論文の執筆等、様々なスタイルに対応します。

● サービス概要

「私」だけでなく「私たち」の経験として一定の客観性をもって当事者の生活実態、困りごとや本音を伝えることで、隠れていた課題やアンメット・メディカルニーズが浮かび上がり、製品開発・マーケティング・啓発活動等に貢献します。

● 講演の特徴：3つの視点

- ✓ 当事者としての視点：病気と共に歩んだ人生・思い
- ✓ 支援者としての視点：多くの仲間を支える立場で経験した客観性
- ✓ 経験の幅を活かした視点：当事者経験に留まらない多様な人生・社会経験による多角性

● 提供サービス例

- ✓ 講演：ライフサイエンス企業向け、医療者向け、一般市民向け等、対象に合わせたテーマ設定。学会・研究会等への登壇、教育現場での講義等
- ✓ パネルディスカッション：医療者、メディカルスタッフ、研究者、行政職員、企業担当者等、異なる立場のパネリストとの議論
- ✓ 執筆：医療系メディア、企業広報誌、学術誌、一般紙／誌等への寄稿



04 調査・研究への協力

ピーペックは、病気をもつ人の“こえ”には力があると確信しています。その力を社会の中で存分に発揮できる環境をつくるため、病気をもつ人の“こえ”を「エビデンス」へと再構築し、社会課題の解決に貢献します。また、「医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI, Patient and Public Involvement）」を推進するため、臨床研究やライフサイエンス企業等のアンケート調査に協力します。

● サービス概要

大学・研究機関、シンクタンクや企業等との共同研究やアンケート調査への協力を行い、社会に対する訴えかけを進めます。規模や内容、目的等、様々なニーズやご要望に応じて、ウェブアンケートやインタビュー、モニター会等の企画運営や実施サポートを行います。

● 主な実績

- ✓ 国立研究開発法人 科学技術振興機構 SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム「ピアサポートのDX化による、新しい当事者参画医療社会モデルの構築に向けたシナリオの創出」に協働実施者として代表理事 宿野部が参画
- ✓ 「じんラボ」を活用した腎臓病患者への調査実施



年間数万人と繋がる、独自の活動やネットワーク

じんラボ

腎臓病に特化したウェブサイト

月間ユーザー数：29,200

1日平均ユーザー数：973

月間PV数：102,500

登録会員数：5,225名

(2013年～2026年4月末現在)

<https://www.jinlab.jp/>

一緒に いただきます プロジェクト

通算閲覧数：37,939

(2026年4月末現在)

<https://ppecc.jp/project/itadakimasu>

みんなで作ろう、 これからの医療 プロジェクト

イベント開催：19回

通算参加者数：1,329名

(2020年～2026年4月末現在)

<https://ppecc.jp/project/pph>

参画プロジェクト

- 日本患者会議
JPoM:Japan Patients Open Meeting
- みんなの患者・当事者 参画プラットフォーム
J-PEP:Japan's Patient Expert Platform
- 科学技術振興機構（JST）調査研究プロジェクト
- 一般社団法人YORIAI Lab

<https://ppecc.jp/project/involved>

国際的な活動

- Global Patient Alliance for Kidney Health
- Global Heart Hub
- Global Patient Partnership Initiative

<https://ppecc.jp/project/international>

社会システムへの提言と業界を超えた連携

アドボカシー（政策提言）

設立時よりNPO法人日本医療政策機構と協働するほか、国などへ意見発表するなど、アドボカシー活動を進めています。

当アドボカシー活動は、病気をもつ人と医療者間のコミュニケーション向上を目指し、フラットな医療システム実現に向けた提言を行っています。

https://ppecc.jp/news?filter_category=advocacy

他業界とのコラボレーション

- 資生堂クリエイティブ
未来を描く展示プロジェクト
- 不動産系企業
透析関連施設事業化へのアドバイザー

取引先一覧 (2026年4月末現在/五十音順)

ライフサイエンス企業

アイパークインスティテュート株式会社
アステラス製薬株式会社
アストラゼネカ株式会社
アッヴィ合同会社
AMI株式会社
アミカス・セラピューティクス株式会社
アルジェニクスジャパン株式会社
アレクシオンファーマ合同会社
EAファーマ株式会社
イーピーエス株式会社
株式会社ヴァンティブ
エドワーズライフサイエンス合同会社
大塚製薬株式会社
小野薬品工業株式会社
株式会社協和企画
協和キリン株式会社
グラクソ スミスクライン株式会社
佐藤製薬株式会社
株式会社CMCエクスメディカ
Just Worldwide株式会社
株式会社JMDC
株式会社Save Medical
第一三共株式会社
大正製薬株式会社
中外製薬株式会社
帝人ファーマ株式会社
東レ株式会社
東レ・メディカル株式会社
株式会社トマーレ
鳥居薬品株式会社
日本イーライリリー株式会社
日本新薬株式会社

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
日本メドトロニック株式会社
ノバルティス ファーマ株式会社
パレクセル・インターナショナル株式会社
ファイザー株式会社
ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
株式会社マクロミルケアネット
メディデータ・ソリューションズ株式会社
Ubie (ユビー) 株式会社

団体・協会・研究所等

公益財団法人医療科学研究所
公益財団法人医療機器センター附属 医療機器産業研究所一
一般社団法人欧州製薬団体連合会 (EFPIA Japan)
一般社団法人CancerX
国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所 (SaQRA)
一般社団法人サードパス
国立成育医療研究センター 研究所
習志野健康福祉センター
一般社団法人ディー・アイ・エー・ジャパン
東京保険医協会
一般社団法人日本血液製剤機構
一般社団法人日本CRO協会
一般社団法人米国医療機器・IVD工業会 (AMDD)
一般財団法人臨床試験支援財団

学会・研究会等

九州人工透析研究会
一般社団法人日本サイコオンコロジー学会
一般社団法人日本在宅血液透析学会・長時間透析研究会
JAPhMed-PhRMA -MAPS, Japan Medical Affairs Summit 2025
日本腎栄養代謝研究会
一般社団法人日本腎臓学会
一般社団法人日本生命倫理学会
一般財団法人日本製薬医学会
一般社団法人日本透析医学会
日本保健医療社会学会
公益社団法人日本薬学会
一般社団法人日本臨床試験学会
一般社団法人日本臨床薬理学会
日本臨床倫理学会
一般社団法人メディカルジャーナリズム勉強会
モニタリング2.0検討会
Reuters Events

一般企業、その他

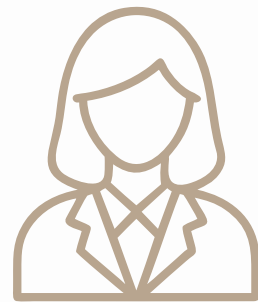
特定非営利活動法人一新塾
味の素株式会社
キッコーマン株式会社
資生堂クリエイティブ株式会社
大和ライフネクスト株式会社
TERA Energy株式会社

大学・病院等

飯田橋 春口クリニック
大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部
慶應義塾大学 理工学部
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター
上智大学・東京慈恵会医科大学 (共催)
昭和医科大学認定看護師教育センター
千葉大学医学部附属病院千葉県総合難病相談支援センター
帝京大学
帝京平成大学
東京科学大学
東京医科歯科大学病院 (現 東京科学大学病院)
東京慈恵会医科大学
東京慈恵会医科大学附属柏病院
東邦大学健康科学部
日本社会事業大学
日本女子大学
山梨県立大学看護学部
立命館大学

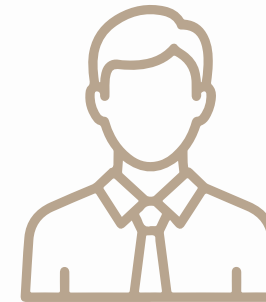
実施企業の感想

講演会実施企業



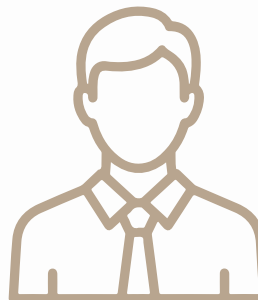
講演という形式で病気をもつ人のお話を聴くことで、その方の疾患や生活、生活における困りごとなどをじっくり聴き、知ることができる。講演形式は参加社員数が多くても実施でき、共通した知識を深める機会となる

対話会実施企業



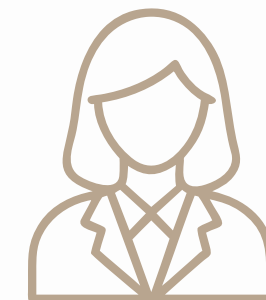
- 対面：病気をもつ人たちの生活の様子やこえを直接聴き、一緒に対話をしたり考えたりすることで、自分たちが携わっている業務の先にはその患者さんがいるということを実感することができ、業務への携わり方や考え方が変わった、自分事として考えるきっかけとなった
- オンライン：地方の方も参加することができ、居住環境の違いによる困りごとあることも聴く事ができた

新入社員研修実施企業



これから本格的に仕事に入る新入社員たちが、患者さんたちのこえを直接聴くことでやる気に満ち溢れ、新たな学びと共に更に理解を深め業務に携わることができるよい研修となりました

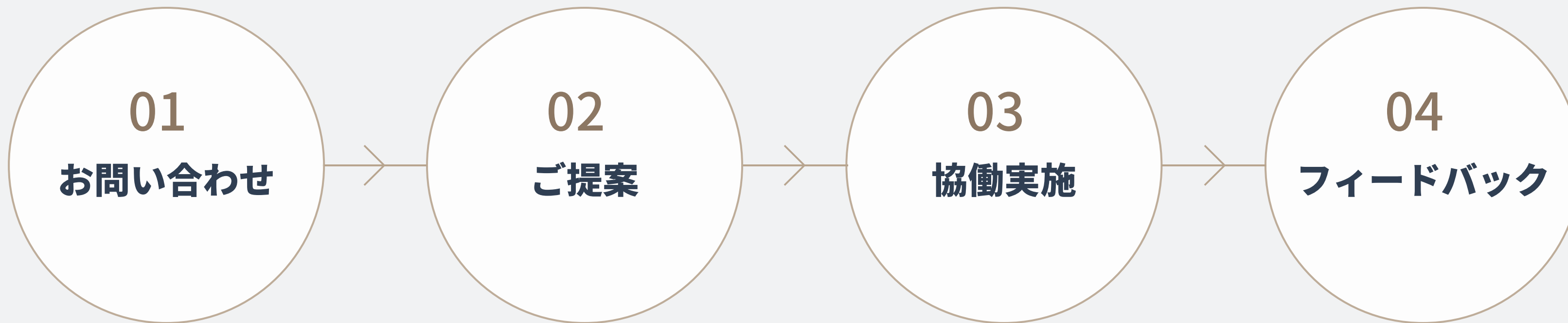
数回にわたって文書レビュー・アドバイザリーを実施した企業



文書レビューやアドバイザリーなどの校閲作業については当事者の視点や当事者以外の視点など、あらゆる角度・視点からレビューをおこなえる人材の確保が可能のため、とても助かっている

お申込みから実施まで

貴社のニーズやレギュレーションに合わせて対応します

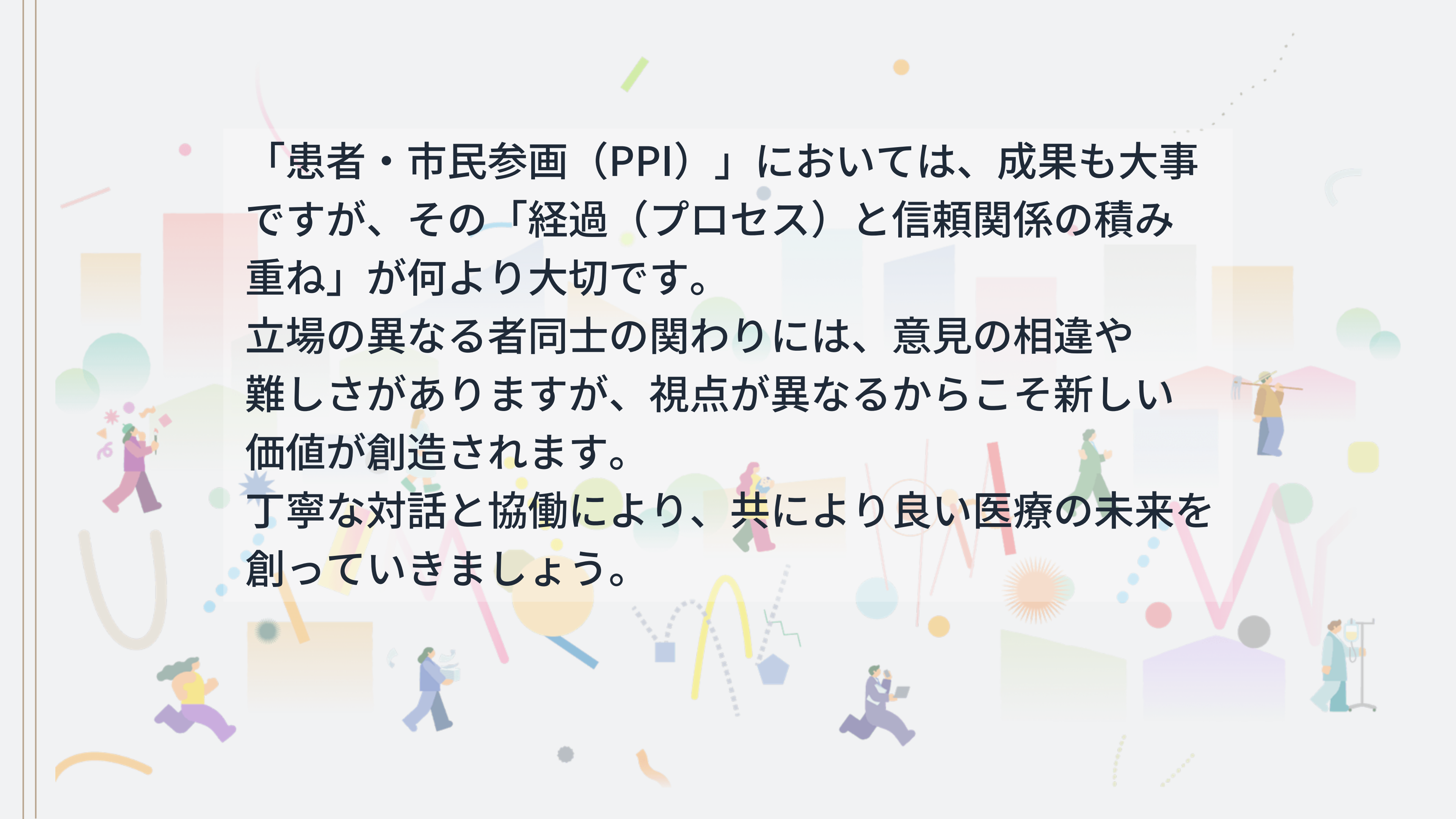


初回のお問い合わせは、希望実施時期の2ヵ月前を目安にお願いします。

ご要望を元に、協働の目的達成に最適なお提案と見積を作成します。

契約締結後、候補者選定やオリエンテーション、実施に向けたサポートを経て、協働します。

「貴重なお話をありがとうございました。」で終わらない、ご依頼企業、協働した病気をもつ人双方からフィードバックを行います。



「患者・市民参画（PPI）」においては、成果も大事ですが、その「経過（プロセス）と信頼関係の積み重ね」が何より大切です。立場の異なる者同士の関わりには、意見の相違や難しさがありますが、視点が異なるからこそ新しい価値が創造されます。丁寧な対話と協働により、共により良い医療の未来を創っていきましょう。

お問い合わせ

ご依頼・ご相談は お気軽にお問い合わせください。

一般社団法人ピーペック
担当：事務局長 宿野部香緒里

ウェブからのご連絡

お問い合わせフォームよりご連絡ください。
内容を確認のうえ、3営業日以内にご返信いたします。

<https://ppecc.jp/contact>

メールでのご連絡

お問い合わせ内容をメールにてお送りください。
内容を確認のうえ、3営業日以内にご返信いたします。

info@ppecc.jp

電話でのご連絡

お急ぎの場合は電話でも承ります。ご不明点やご相談内容をその場でお伺いいたします。

03-6279-5669 受付時間 平日 10:00~17:00

